

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

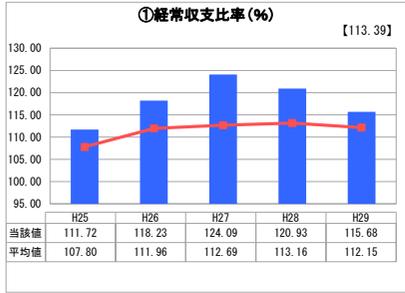
岩手県 宮古市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)	
-	73.39	98.29	2,430	

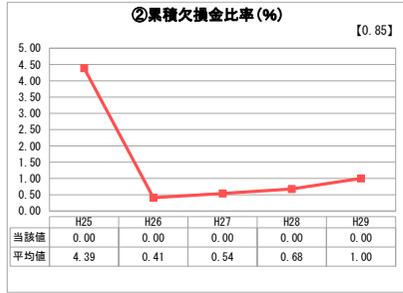
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
54,159	1,259.15	43.01
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
52,630	112.33	468.53

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成29年度全国平均

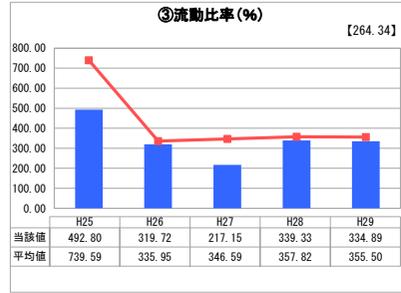
## 1. 経営の健全性・効率性



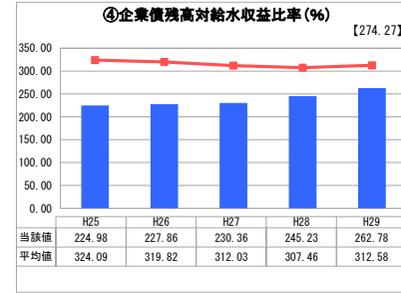
「経常損益」



「累積欠損」



「支払能力」



「債務残高」



「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

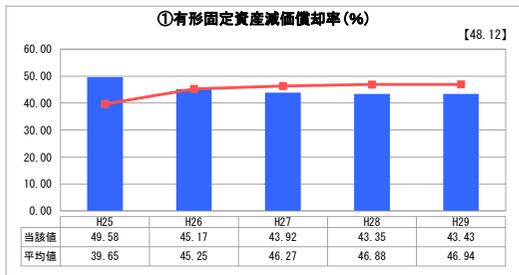


「施設の効率性」

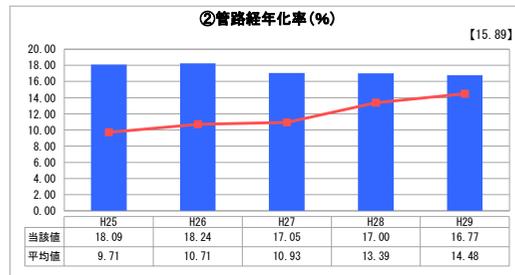


「供給した配水量の効率性」

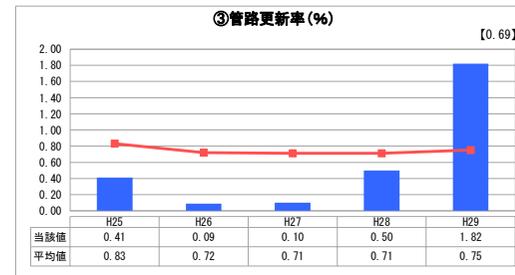
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率  
経常費用に対する経常収益の割合を表す指標です。各年度とも黒字を示す100%を超えています。
- ②累積欠損比率  
複数年度にわたって累積した欠損金の割合を表す指標です。累積欠損金はありません。
- ③流動比率  
短期的な債務に対する支払能力を表す指標です。類似団体より低い割合ですが、必要とされる基準100%を超えており、支払能力は備わっています。
- ④企業債残高対給水収益比率  
給水収益に対する企業債残高の割合を表す指標です。簡易水道統合整備事業費等の増加に伴い、企業債残高は増加してきていますが、類似団体と比較してもその割合は低くなっています。
- ⑤料金回収率  
費用をどの程度料金収入で賄えているかを表した指標です。100%を下回っていますが、繰出し基準に定める事由以外の繰出金ははありません。
- ⑥給水原価  
水道水1m<sup>3</sup>をつくるのにどのくらいの費用がかかっているかを表す指標です。類似団体より低く推移しています。
- ⑦施設利用率  
施設の配水能力に対する配水量を表す指標で、施設の利用状況等を表す指標です。類似団体より高い割合で施設を利用しています。
- ⑧有収率  
施設の稼働が収益にどのくらいつながっているかを判断する指標です。施設等の老朽化により類似団体よりも低い割合となっています。

### 2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率  
資産の老朽化度を表す指標です。平成26年度までは類似団体と比較しても高い割合で推移していましたが、H27からは改善しています。
- ②管路経年化率  
水道管の老朽化度を表す指標です。H27からは改善していますが、類似団体と比較しても高い割合となっています。
- ③管路更新率  
水道管を更新した割合を表す指標です。類似団体よりも高い割合となっています。

### 全体総括

当市は13施設の簡易水道に法適用しているものの、経営は、類似団体の各指標と比較して健全に推移しています。しかし、水道施設や水道管の老朽化が進んでおり、有収率を低下させる主な要因となっていることから、老朽化した水道施設や水道管の更新を計画的に進めて行く必要があります。また、今後も人口減少に伴う料金収入の減少が見込まれることから計画的な経費削減を行う必要があります。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。